

公開研究会のお知らせ

労働総研の労働時間健康問題共同研究会は、この間の研究活動をふまえ、金属労働研究所時短研究会との共催、公益財団法人社会医学研究センターの協賛で、下記のとおり公開研究会を開きます。

参加希望の方は労働総研事務局までご連絡ください。

【公開研究会の内容】

I 部 日本の長時間労働、コロナ禍の働き方、過労死

報告 1：日本の長時間労働と課題＝鷺谷徹(中央大学名誉教授)

報告 2：コロナ禍の働き方と課題＝藤田実(桜美林大学教授 労働総研事務局長)

報告 3：日本で過労死をなくしてゆくために＝佐々木昭三(労働総研常任理事 社医研センター理事)

参考文献：

鷺谷徹「なぜ長時間労働がまん延するのか」(『学習の友』2021年10月号)

藤田実「コロナ禍の労働と惨事便乗型の『働かせ方』改革」(『前衛』2021年9月号)

佐々木昭三「過労死防止大綱改定と過労死をなくす国際労働基準」(「労働と医学」150号)

II 部 日本の労働時間短縮闘争

報告：日本で労働時間短縮闘争をすすめるために＝生熊茂実(金属労研代表)

【日程と会場】

日時：2021年12月3日(金) 14時～16時30分

会場：全労連会議室(全労連会館3F)とオンライン(Zoom)の併用
(可能な方はZoomでのご参加をお願いします)

【参加申し込みについて】

参加を希望される方は、氏名、メールアドレスおよび会場参加かオンライン(Zoom)参加かを明記のうえ、11月26日(金)までに労働総研事務局にメールでお申し込みください。オンライン参加の方には後日、Zoomアカウントを連絡します。

労働総研事務局メールアドレス rodo-soken@nifty.com

* 参加者には事前に報告資料をメール送付します。